

教

育

学 校 教 育
社 会 教 育
青 少 年
少 年 自 然 の 家
図 書 館
学 校 給 食 セ ン タ ー

学 校 教 育（学校教育課）

1 市立の学校数

小 学 校	36校
中 学 校	15校
高 等 学 校	1校
計	52校

2 市立小・中学校教職員数等

（令和4年5月1日現在）

	教 職 員 数 (人)			児 童 ・ 生 徒 数 (人)			学 級 数
	総 数	男	女	総 数	男	女	
小 学 校	874	321	553	11,494	5,900	5,594	533
中 学 校	480	244	236	5,933	3,085	2,848	239
	1,354	565	789	17,427	8,985	8,442	772

3 高等学校（令和4年5月1日現在）

名 称 山形市立商業高等学校

生 徒 数 837人（男 326人 女 511人）

（総合ビジネス科12クラス481人 経済科 6クラス236人

国際コミュニケーション科 2クラス80人 情報科 1クラス40人）

教 職 員 数 校長 1人 教頭 2人 教諭 47人 養護教諭 1人 養護助教諭 1人 主任実習教諭 1人 常勤講師 6人
実習講師 3人 非常勤講師 9人 事務職員 8人 技能技師 2人

敷 地 面 積 55,401㎡

屋 外 運 動 場 28,597㎡

校 舎 棟 12,531㎡（普通教室21、特別教室23）

体 育 館 棟 9,188㎡

セミナーハウス棟 897㎡

屋外クラブハウス 313㎡

図書館蔵書冊数 22,096冊

新築工事工期 令和2年4月1日～令和4年3月31日 （Ⅰ期工事：校舎棟、体育館棟など）

令和4年4月1日～令和5年11月30日 （Ⅱ期工事：グラウンド、野球場、外構など）

総 事 業 費 11,021,242,419円（15年間の維持管理・運営費用を含む）

P F I 事業契約による設計・建設 8,781,058,319円

P F I 事業契約による維持管理・運営 2,240,184,100円

※運営は食堂・売店部分

事 業 方 式 P F I 事業・B T O 方式

運 営 体 制 株式会社山商パートナーズ（代表企業：山形建設株式会社）

4 就学援助

学用品費等、校外活動費（宿泊を伴うもの）、新入学児童生徒学用品等費、入学準備金、体育実技用具費、修学旅行費、オンライン学習通信費、学校給食費など学校でかかる費用の一部を援助する。

要保護及び準要保護児童生徒数

（令和3年度）

令和3年5月1日現在 児童生徒数 ①	要 保 護 ②	割合 B/A ③	準 要 保 護 ④	割合 D/A ⑤
小学校 11,651人	58人	0.5%	464人	3.98%
中学校 5,981人	31人	0.5%	304人	5.08%



5 特別支援教育就学奨励費

扶助対象者（令和3年度）

小学校 280人

中学校 92人

6 通学費補助金

(1) 遠距離通学費補助金

補助対象者（令和3年度）

小学校 17人

中学校 11人

(2) 冬季通学費補助金

補助対象者（令和3年度）

中学校 206人

7 知的障がい特別支援学級（令和4年5月1日現在）

小集団の中で、各教科等について、個に応じた指導が行われている。小学校では、体力づくりや基本的な生活習慣の確立、日常生活に必要な言語や数量などの指導をしている。また、中学校では、それらを更に伸ばすとともに、家庭生活や職業生活に必要な知識や技術などを指導している。

<小学校>

設置場所	一小	二小	三小	四小	五小	六小	七小	八小	九小	十小
教員(人)	1	1	1	1	1	1	2	2	2	1
在籍児童数(人)	1	6	5	3	1	6	7	8	8	5

設置場所	南小	西小	東小	鈴川小	千歳小	金井小	大郷小	明治小	出羽小	楯山小
教員(人)	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1
在籍児童数(人)	6	7	7	3	4	6	5	2	3	3

設置場所	高瀬小	山寺小	東沢小	滝山小	桜田小	南沼原小	宮浦小	蔵王一小	蔵王二小	蔵王三小
教員(人)	1	0	1	2	1	2	1	1	2	0
在籍児童数(人)	3	0	1	9	6	9	1	4	8	0

設置場所	南山形小	みはらしの丘小	本沢小	西山形小	村木沢小	大曾根小	計
教員(人)	2	1	0	1	1	1	42
在籍児童数(人)	7	6	0	1	2	2	155

<中学校>

設置場所	一中	二中	三中	四中	五中	六中	七中	八中	九中	十中
教員(人)	2	2	2	1	2	2	1	1	1	1
在籍児童数(人)	7	7	9	5	9	10	3	1	5	6

設置場所	金井中	高楯中	山寺中	蔵王一中	蔵王二中	計
教員(人)	1	1	0	1	1	19
在籍児童数(人)	4	3	0	4	1	74

8 自閉症・情緒障がい特別支援学級（令和4年5月1日現在）

自閉症・情緒障がい教育は、自閉症などがある子どもと主として心理的な要因による選択性かん黙などがある子どもを対象としている。

安心できる雰囲気の中で、情緒の安定や円滑な対人関係のための指導、言語の理解と使用、場に応じた適切な行動などができるようにするための指導が行われている。

〈小学校〉

設置場所	一小	二小	三小	四小	五小	六小	七小	八小	九小	十小
教員(人)	1	2	3	1	2	2	1	3	2	2
在籍児童数(人)	3	9	13	2	8	12	6	16	10	8

設置場所	南小	西小	東小	鈴川小	千歳小	金井小	大郷小	明治小	出羽小	楯山小
教員(人)	3	2	2	3	1	2	1	1	2	1
在籍児童数(人)	13	10	11	18	6	12	4	2	10	2

設置場所	高瀬小	山寺小	東沢小	滝山小	桜田小	南沼原小	宮浦小	蔵王一小	蔵王二小	蔵王三小
教員(人)	1	1	2	3	2	3	1	2	1	0
在籍児童数(人)	6	3	7	16	10	16	4	7	4	0

設置場所	南山形小	みはらしの丘小	本沢小	西山形小	村木沢小	大曾根小	計
教員(人)	1	2	1	1	1	0	59
在籍児童数(人)	4	7	2	2	1	0	264

〈中学校〉

設置場所	一中	二中	三中	四中	五中	六中	七中	八中	九中	十中
教員(人)	2	1	2	1	2	2	1	1	1	3
在籍児童数(人)	8	4	11	6	11	8	3	1	3	16

設置場所	金井中	高楯中	山寺中	蔵王一中	蔵王二中	計
教員(人)	1	1	0	1	0	19
在籍児童数(人)	3	1	0	4	0	79

9 肢体不自由特別支援学級（令和4年5月1日現在）

各教科、特別活動のほか、歩行指導や書写に必要な上肢の運動・動作の指導なども行っている。指導にあたっては、個別指導やグループ指導を積極的に取り入れている。

設置場所	一小	六小	東小	鈴川小	三中	計
教員(人)	1	1	1	1	2	6
在籍児童生徒数(人)	2	6	2	1	7	18

10 病弱特別支援学級（院内学級）（令和4年5月1日現在）

入院中の子どものために、山形大学医学部附属病院内に設置された学級。子どもの病気の状態に応じ、教科指導等を行っている。

設置場所	蔵王第一小	蔵王第一中	計
教員(人)	1	1	2
在籍児童生徒数(人)	4	1	5

11 病弱特別支援学級（校内設置）（令和4年5月1日現在）

各教科の学習のほか、病気の状態に応じた支援・指導を行っている。指導にあたっては交流学习を取り入れている。



設 置 場 所	桜田小	計
教 員(人)	1	1
在籍児童生徒数(人)	1	1

※令和2年度より特別支援指導員を36名から40名に増員し、市立小中学校に配置している。

12 通級指導教室（令和4年5月1日現在）

(1) 言語

遊びや会話などを通して、正しい発音や楽に話す方法を指導している。

また、生活の中で、それらの定着を図るように、家庭や在籍学級との連携協力を努めている。

設 置 場 所	一 小	三 小	六 小	計
教 員(人)	4	4	4	12
自校通級児童数(人)	18	22	20	60
他校通級児童数(人)	61	75	59	195

(2) LD・AD/HD

LD・AD/HDの特別な教育的ニーズのある児童に対応した指導・支援を行う。

設 置 場 所	第七小	第九小	鈴川小	滝山小	南沼原小	第四中	第六中	第十中	計
教 員(人)	2	1	2	1	3	3	2	1	15
自校通級児童数(人)	6	7	9	6	19	3	4	3	57
他校通級児童数(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0

13 ふきのとう学級

市立病院済生館に入院している児童生徒に対して学習の指導・援助を行う。

開 設 日 希望する児童生徒がいる期間 月～金

14 山形市総合学習センター

所 在 地 山形市城西町二丁目2番15号（設置：平成3年7月）

URL <http://www.ygmt.ed.jp>

(1) 目 的

市民の学習活動及び教育相談、教育関係者等の研修を通して、市の教育及び文化の振興を図ることを目的とする。
（活動型研修を実施する機能と設備・機材を備えている）

(2) 事 業

- ・学校教職員の研修、実技講習
- ・子どもの教育相談・発達相談・幼児ことばの相談、適応教室「風」の運営、ふきのとう学級の運営
- ・教育に関する情報収集、提供

15 山形市教育研究所

所 在 地 山形市城西町二丁目2番15号 山形市総合学習センター内（設置：昭和28年3月）

URL <http://www.ygmt.ed.jp>

(1) 調査研究

- ・教育理念の研究
- ・学校運営の研究
- ・教科の研究
- ・教育資料の調査
- ・学習指導法の研究
- ・その他教育委員会が必要と認める事項

(2) 事 業

- ・研究物・教育諸資料の発行並びに公表
- ・研究会及び講習会の開催
- ・教育関連図書資料コーナーの運営
- ・その他教育委員会が必要と認める事項

16 山形市理科教育センター

所在地 山形市城西町二丁目2番15号 山形市総合学習センター内（設置：昭和34年7月）

URL <http://www.ymgt.ed.jp/rikacenter/YAMAGATASIRISE.html>

理科教育に関する専門的・技術的事項の研究及び理科教育関係職員の研修を行う。

- ・理科教育関係職員の研修
- ・理科教育に関する専門的・技術的事項の研究
- ・理科教育に関する資料の収集及び刊行配布
- ・理科機械・器具の貸し出し、理科薬品等の安全指導
- ・児童・生徒の理科研究の推進と科学教室
- ・その他必要なこと。

17 外国語指導助手（ALT）（令和4年5月1日現在）

- ・JETプログラムのALT9名、民間のALT8名を配置している。
- ・17の小中学校グループで計画的に訪問し、小中学校における外国語教育の推進を図る。
- ・令和4年9月よりJETプログラムALT12名、民間のALT8名とし、20の学校グループで運用する。

18 教職員働き方改革推進事業

(1) 目的

教職員の部活動指導に係る負担の軽減及び部活動指導の質的な向上を図る。

(2) 事業内容

- ① 部活動指導員15名を市立中学校15校に配置する。
- ② 配置された部活動における安全管理や技術指導を行うとともに、練習試合や大会の引率、補助等を行う。

19 不登校児童生徒対策事業

(1) 目的

不登校及び不登校傾向の児童生徒の早期発見及び相談支援を行う。

(2) 事業内容

- ① 教育相談員の配置 山形市立中学校を中心に教育相談員14名を配置する。
- ② Q-Uを中学校全学年、小学校3～6年で実施し、集団の傾向と個人の状況を把握するとともに、いじめや不登校等、密接に関わる各種生徒指導上の問題の未然防止、早期発見、即時対応に活用する。

20 退職教員の活用等による個に応じた学習支援事業

(1) 目的

複式学級や小規模の学校を中心に学習支援の在り方を研修、研究し学力向上を図るため、学力向上支援員（アシスタント・ティーチャー）を配置する。

(2) 事業内容

令和4年度は、複式学級のある小学校6校に、学力向上支援員（アシスタント・ティーチャー）として退職教員等を配置する。

21 少子化に対応した活力ある学校づくり調査・研究事業

(1) 目的

山形市の課題となっている少人数学校など、少子化に対応した活力ある学校づくりについて調査・研究を進めていく。

(2) 事業内容

山形市立小学校6校から調査研究員を委嘱し、ICT等を活用した授業研究や交流事業など、少子化に対応した活力ある学校づくりに向けての調査・研究を行う。

22 新聞記事データベース活用モデル事業

(1) 目的

授業での情報検索を効率よく行うことを支援し、課題や目的に応じた情報手段の適切な活用を含めた生徒の情報活用能力を育成する。また、郷土に関する新聞記事を検索することにより、郷土の特色を深く郷土を愛する心を育成する。



(2) 事業内容

山形新聞記事データベース検索サービスを実施校の職員及び生徒が使えるようにする。

(3) 実施校

山形市立第一中学校
山形市立第二中学校
山形市立第四中学校
山形市立第九中学校
山形市立山寺中学校

23 家庭学習のための通信機器整備支援事業

(1) 目的

家庭でのオンライン学習の実施にあたり、現在インターネット環境が整備されていない家庭に対して、インターネット環境を提供する。

(2) 事業内容

インターネット環境が整備されていない家庭に月10GBの使用が可能なモバイルWi-Fiルーターを貸与する。環境の整備により、臨時休校を余儀なくされた場合でも遠隔による学習支援が可能となる。また、家庭において、学校の授業の進度に関連させたドリルソフトの活用による個別学習や、デジタル教科書を利用した予習・復習が可能となる。

24 情報ネットワーク運用支援事業

(1) 目的

学習者用端末の安定的な稼働や教職員のICT機器を活用した授業力向上、情報教育の一層の充実のために、専門知識・技能をもつICT支援員を増員し、教職員や児童生徒への支援体制を構築する。

(2) 事業内容

① ICT支援員の業務

学校教育の情報化及び情報教育全般に関するコーディネート、コンサルテーションを行うとともに、市内小・中学校に配備されているタブレット端末を含めた教育用コンピュータならびに学校間をつなぐ情報ネットワーク環境を教育活動に有効に活用し、授業や学習活動でのICT機器の活用に関する支援等を基本としている。

プログラミング教育の推進に特化した支援においては、授業の指導計画及び授業づくりへの助言・支援、操作支援、教材の準備・メンテナンス、ソフトウェアの選定に対する助言や操作講習等の業務を担っている。

② ICT支援員の配置人数

令和元年度は3名体制だったが、令和2年度に9人増員して12名体制とした。
令和3年度からは、さらに4人増員して16名体制としている。

25 学校現場のICT化に向けた機器等整備事業

(1) 目的

見やすさ、わかりやすさ・使いやすさを充足するスマートな学習環境の整備、最先端の教育環境による教育の質的向上をめざす。

(2) 事業内容

① 電子黒板の導入

- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に必要な不可欠な電子黒板の導入
- ・全校への段階的導入をめざした教育情報推進校における実証検証

② 職員室への無線LAN環境の拡充

- ・全教科デジタル教科書導入・活用に対応するため、職員室への無線LAN整備の拡充

③ 指導者用1人1台タブレット端末の整備

- ・小学校、中学校の授業を担当する教員1人1台分のタブレット端末の配備

26 統合型校務支援システム整備事業

(1) 目的

校務の情報化の推進により、教職員の事務の軽減・効率化を図ることで学校における「働き方改革」を推進しながら、子どもと向き合う時間のさらなる創出をめざす。

(2) 事業内容

統合型校務支援システムを導入し、教職員がなお一層子どもの気持ちに寄り添う時間の確保や、授業のための教材研究の時間や、研修の時間の確保等が実現しやすい環境を整備する。

- ・教務系（成績処理、出欠管理、時数管理等）、保健系（健康診断票、保健室来室管理等）、学籍系（指導要録等）における資料のデジタル化
- ・教職員による学校・学級運営に必要な情報、児童生徒の情報の一元管理、共有
- ・教職員の出退勤管理の導入による教員の適正な勤務時間の把握と勤務時間の縮減
- ・校務の効率化による業務改善の推進

27 学校体育の指導育成事業

(1) 目的

児童生徒の体力向上と運動の習慣化を図り、生涯にわたってスポーツに親しむための基礎を養う。

(2) 事業内容

研修会等を実施するとともに、関係団体等と連携を図りながらスポーツ大会等を支援する。

28 学校保健の指導管理事業

(1) 目的

健康教育の充実、児童生徒及び教職員の健康の保持増進や衛生管理に努め、心身ともに健全な児童生徒の育成を図る。

(2) 事業内容

研修会等を実施するとともに、学校と連携しながら児童生徒及び教職員の健康管理や衛生管理等を行う。

29 学校体育施設開放事業概要

(1) 開放事業の運営について

① 開放のための組織

開放施設運営委員会…学校側、使用団体代表者、スポーツ推進委員、地区代表、市教委が必要と認めたもの。
(年2回以上開催)

② 運営

ア 使用対象:山形市に在住若しくは在勤又は在学するものにより構成された団体で、教育委員会が適当と認めたもの。

イ 開放日時

区 分	開 放 開 始 時 間	開放終了時間
屋 外 運 動 場	平日18時、土及び日・祝日6時	22時00分
屋 内 運 動 場	平日18時、土及び日・祝日9時	22時00分
ク ラ ブ ハ ウ ス	平日18時、土及び日・祝日9時	22時00分

ウ 管理指導員は、使用団体の責任者があたる。(開錠、施錠、日誌等の記入等)

エ 使用計画書(4月)、許可申請書の提出(随時)と使用状況の報告(3月)

オ 開放事業の責任……教育委員会(昭和59年7月改正)

(2) 使用状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	内49	外49								
開放指定校数										
使 用	855		870		874		855		841	
団体数(団体)	660	195	671	199	686	188	658	197	648	193
延 使用	43,264		43,128		38,950		30,173		34,147	
回数(回)	34,738	8,526	34,597	8,531	30,615	8,335	24,894	5,279	26,631	7,516
延 使用	803,698		726,432		752,748		581,812		646,240	
人数(人)	618,755	184,943	561,262	165,170	582,274	170,474	476,131	105,681	515,136	131,104

(3) 経費

(単位:円)

年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
経 費	3,650,500	3,650,500	3,650,500	3,650,500	3,650,500

(平成17年度からは、学校配当予算に組み入れ)



30 学校施設一覧

(令和4年5月1日現在)

学校名	設置年度	建築年度	敷地総面積		うち野外運動場	建 物				教室数		プール構造	柔剣道場面積
			総面積	うち借用		校舎	うち木造	屋内運動場	うち木造	普通	特別		
第一小	明治22	平成15	16,103	—	3,340	4,949	—	913	—	11	6	ステンレス	
第二小	明治22	昭和44	12,144	—	6,370	4,369	—	1,116	—	16	14	FRP	
第三小	明治22	昭和41	18,692	—	8,694	5,194	—	1,006	—	18	9	FRP	
第四小	明治44	昭和39	11,893	—	5,283	4,439	—	1,103	—	8	13	FRP	
第五小	大正12	昭和43	17,524	—	7,117	4,968	33	1,132	—	12	14	FRP	
第六小	昭和9	平成8	16,772	—	8,527	7,106	38	1,267	—	18	11	FRP	
第七小	昭和9	平成19	16,515	—	5,957	6,458	51	1,220	—	17	5	ステンレス	
第八小	昭和28	昭和63	14,874	—	7,435	5,629	—	1,286	—	18	9	FRP	
第九小	昭和32	平成7	20,001	—	11,043	6,010	—	1,495	—	25	8	FRP	
第十小	昭和39	昭和39	19,168	—	10,124	5,291	104	957	37	18	11	FRP	
南小	昭和49	昭和48	18,184	—	12,251	5,178	40	1,026	—	20	12	FRP	
西小	昭和52	昭和52	18,210	—	10,122	5,384	40	1,021	—	22	11	アルミ	
東小	昭和56	平成22	12,336	—	5,906	5,816	—	2,272	—	17	8	ステンレス	
鈴川小	明治7	昭和42	21,175	9,670	12,768	5,775	69	1,367	—	25	10	FRP	
千歳小	明治25	平成30	19,885	—	10,874	4,980	3,529	986	—	15	6	ステンレス	
金井小	明治33	昭和49	16,884	—	7,255	6,198	40	1,367	—	29	8	FRP	
大郷小	明治6	昭和46	15,376	—	8,143	3,140	26	1,144	—	8	8	FRP	
明治小	明治24	昭和50	13,542	478	5,226	2,118	40	638	—	8	4	ステンレス	
出羽小	明治34	昭和49	14,014	—	8,360	4,107	50	671	19	16	8	FRP	
楯山小	明治33	昭和42	14,662	—	10,034	2,799	—	745	—	8	6	FRP	
高瀬小	明治33	昭和43	13,400	—	10,016	3,203	50	823	37	8	9	FRP	
山寺小	明治7	昭和61	21,864	732	15,096	2,033	—	571	—	5	3	FRP	
東沢小	明治35	平成6	15,754	367	7,820	3,695	17	1,399	—	9	9	FRP	
滝山小	明治23	昭和53	25,532	985	16,089	6,691	—	1,019	—	28	10	FRP	
桜田小	平成3	平成2	18,220	—	9,623	5,511	—	1,452	—	19	7	FRP	
南沼原小	明治37	昭和46	41,789	—	20,333	6,658	111	1,033	—	32	10	FRP	
宮浦小	昭和56	昭和56	18,394	—	9,465	5,264	40	1,038	—	14	11	ステンレス	
蔵王第一小	明治6	昭和52	18,151	28	10,268	4,814	40	1,051	—	15	8	アルミ	
蔵王第二小	明治33	昭和52	19,072	—	8,358	3,671	40	788	—	9	9	ステンレス	
蔵王第三小	明治7	昭和44	16,252	—	3,731	1,365	40	428	—	2	5	FRP 上屋付	
南山形小	明治37	昭和50	18,916	386	9,901	5,031	717	1,332	—	16	8	FRP	
みはらしの丘小	平成18	平成17	27,305	—	12,087	5,507	—	1,565	—	21	8	ステンレス	
本沢小	明治33	平成2	15,039	—	7,398	2,617	49	676	—	7	6	FRP	
西山形小	明治27	昭和39	17,757	—	6,806	2,169	40	647	—	7	3	FRP	
村木沢小	明治6	昭和46	14,282	—	6,345	1,802	52	650	—	8	4	FRP	
大曾根小	明治7	昭和47	13,904	—	10,668	1,853	40	726	—	7	4	FRP	
小学校計			643,585	12,646	328,833	161,792	5,296	37,930	93	536	294		
第一中	昭和54	昭和53	29,752	—	17,970	7,505	—	1,530	—	19	14	アルミ	695
第二中	昭和22	昭和59	26,994	—	13,127	8,483	60	1,325	—	18	18	FRP	647
第三中	昭和22	昭和47	22,476	—	11,677	7,920	—	1,432	—	26	16	FRP	765
第四中	昭和22	昭和54	26,454	—	14,002	8,667	60	1,661	—	23	19	ステンレス	679
第五中	昭和26	平成26	23,354	—	13,098	7,410	81	2,249	—	22	16	ステンレス	832
第六中	昭和27	昭和59	21,748	—	11,736	8,084	—	2,044	—	25	17	FRP	786
第七中	昭和34	平成4	25,242	—	15,514	6,064	60	1,420	—	13	11	ステンレス	733
第八中	昭和27	昭和47	21,297	—	12,516	3,600	40	1,030	—	5	11	FRP	695
第九中	昭和50	昭和48	25,881	—	15,637	3,572	40	938	—	15	10	FRP	702
第十中	昭和58	昭和57	27,110	—	13,544	7,361	60	1,578	—	25	15	ステンレス	727
金井中	昭和22	昭和56	20,198	—	11,994	5,094	60	1,082	—	20	13	FRP	622
高楯中	昭和27	昭和58	22,673	—	14,008	4,368	60	1,102	—	8	13	FRP	687
山寺中	昭和22	昭和61	—	—	—	1,841	23	569	—	3	6		
蔵王第一中	昭和22	昭和54	24,172	27	14,375	4,893	40	1,062	—	15	13	ステンレスクラッド	694
蔵王第二中	昭和22	昭和44	—	—	—	763	10	400	—	4	4		
中学校計			317,351	27	179,198	85,625	594	19,422	—	241	196		9,264
商業高	大正7	令和3	55,401	—	建設中	12,532	—	8,416	—	21	9		772

31 児童・生徒・学級数

(令和4年5月1日現在)

学 校 名	所 在 地	電話番号	校 長 名	教職員数※			児童・生徒数			学級数
				総数	男	女	総数	男	女	
第一小	本町一丁目5番24号	622-0651	江川久美子	24	8	16	228	112	116	11
第二小	香澄町三丁目9番38号	622-0652	櫻井 順一	26	10	16	412	212	200	16
第三小	宮町五丁目7番58号	622-0653	佐藤 昌彦	33	10	23	382	191	191	18
第四小	相生町4番37号	623-6019	村山ゆかり	16	7	9	189	102	87	8
第五小	東原町一丁目1番9号	622-0655	花輪 千秋	21	8	13	243	139	104	12
第六小	鉄砲町二丁目9番55号	622-0656	江口 俊和	33	11	22	412	195	217	18
第七小	城北町二丁目9番37号	644-3434	原田 健男	26	8	18	399	173	226	17
第八小	小白川町二丁目8番36号	631-2140	丸山 一裕	29	9	20	395	229	166	18
第九小	馬見ヶ崎二丁目5番1号	681-3600	大沼 清司	38	14	24	594	298	296	25
第十小	やよい二丁目6番1号	643-4102	樋口 潤一	28	9	19	416	206	210	18
南 小	青田二丁目1番1号	632-3660	清野 正敏	29	13	16	465	263	202	20
西 小	西田三丁目2番1号	645-0390	武田 喜好	29	12	17	440	224	216	22
東 小	泉町19番31号	642-5259	斎藤 隆史	27	9	18	368	181	187	17
鈴川小	鈴川町三丁目7番10号	622-2158	佐藤 幸司	38	13	25	595	301	294	25
千歳小	落合町1359番地	631-2164	富樫 朗	23	13	10	353	181	172	15
金井小	陣場三丁目7番60号	681-8471	大戸 晃彦	43	17	26	786	391	395	29
大郷小	大字中野506番地	681-8472	豊田 博之	15	8	7	182	90	92	8
明治小	大字灰塚454番地	681-8473	横山 聡	15	7	8	61	31	30	7
出羽小	大字漆山3169番地	684-7321	須藤 征治	23	8	15	385	193	192	16
楯山小	大字青柳字一本木64番地	686-2006	神保 由美	15	6	9	145	80	65	8
高瀬小	大字下東山1264番地	686-2264	細川 直弥	15	6	9	109	65	44	8
山寺小	大字山寺1650番地	695-2004	高木 光紀	9	3	6	32	18	14	5
東沢小	防原町4番地の15	629-2119	横山 尚久	16	6	10	164	86	78	9
滝山小	小立四丁目13番86号	631-2248	吉田 健志	44	12	32	666	360	306	28
桜田小	桜田東一丁目1番30号	624-5083	阿部 勉	30	10	20	382	192	190	19
南沼原小	富の中一丁目1番4号	643-3010	金子 孝宏	52	15	37	836	429	407	32
宮浦小	宮浦17番地の3	645-1479	大城 勝利	20	9	11	278	141	137	14
蔵王第一小	成沢西四丁目3番17号	688-2210	齋藤 正弘	25	10	15	356	180	176	16
蔵王第二小	蔵王上野字南坂2116番地	688-2565	古原 靖子	17	6	11	74	41	33	8
蔵王第三小	蔵王温泉字丈二田727番地	694-9042	高橋 典子	8	3	5	6	1	5	2
南山形小	大字松原字東河原188番地	688-2430	佐藤 浩子	23	9	14	364	184	180	15
みはらしの丘小	みはらしの丘三丁目4番地	689-0181	板垣 恵一	31	14	17	528	275	253	21
本沢小	大字長谷堂1111番地の1	688-2420	鎌田 史顯	13	6	7	73	43	30	7
西山形小	大字柏倉888番地	643-3011	加藤ゆかり	14	5	9	59	30	29	7
村木沢	大字村木沢6046番地	643-2240	星川 仁一	15	4	11	66	36	30	8
大曾根小	大字上反田278番地	643-2134	太田 千春	13	6	7	51	28	23	6
小学校計				874	321	553	11,494	5,901	5,593	533
第一中	松波三丁目1番15号	622-0121	田中 克	34	16	18	443	236	207	19
第二中	西崎62番地	644-3902	小関 広明	34	19	15	457	230	227	18
第三中	双葉町二丁目1番10号	644-3903	井上 賢一	50	25	25	621	326	295	26
第四中	花楯二丁目10番48号	622-3904	加藤 洋一	49	27	22	641	351	290	23
第五中	薬師町一丁目14番10号	622-0559	齋藤 真一	40	20	20	546	297	249	22
第六中	南原町二丁目3番55号	622-0314	佐藤 雄一	50	22	28	688	342	346	25
第七中	天神町2520番地	684-7555	高嶋 敏春	27	15	12	303	146	157	13
第八中	大字村木沢字河原田1620番地の2	643-2241	栗田 和真	15	9	6	103	53	50	5
第九中	大字津金沢字中谷地657番地	688-2220	庄司 秀一	27	12	15	403	226	177	15
第十中	若宮一丁目10番12号	643-1236	山田 博志	49	21	28	660	337	323	25
金井中	陣場三丁目12番25号	681-8474	佐藤 朋子	39	19	20	543	273	270	20
高楯中	大字中里38番地	686-6029	沢口 肇	21	12	9	151	72	79	8
山寺中	大字山寺1650番地	695-2044	高木 光紀	8	5	3	24	8	16	3
蔵王第一中	蔵王南成沢34番地	688-2516	丹羽 英樹	28	16	12	345	185	160	15
蔵王第二中	蔵王温泉字丈二田727番地	694-9042	高橋 典子	6	5	1	5	3	2	2
中学校計				480	244	236	5,933	3,085	2,848	239
商業高	あかねヶ丘一丁目9番1号	643-4115	小林 勝喜	82	43	39	837	326	511	21

※H30より「教員数」から「教職員数」に変更



社 会 教 育（社会教育青少年課）

社会教育事業については、社会の変化に伴う市民一人ひとりが抱える課題や、市民生活に関わる生活課題などに対応する、全市を対象とした「社会的要請学習の推進」と、地域づくり活動や地域社会を支える人材を育成する機会を提供する「地域づくり学習の推進」を2つの大きな柱として実施する。

主 な 施 策

(1) 生涯学習の推進

- ・市民の生涯学習活動の推進のために、公民館施設の提供を行う。提供にあたっては、公民館の空き情報を公開するなど、利用者の利便性を高めるとともに、市民が快適に利用できるよう必要な維持・補修を実施するなど適切に管理する。
- ・生涯学習に関する情報については、広報やまがた、公民館報及び山形市ホームページ等により市民に周知・広報するとともに、自発的な生涯学習への取り組みを促進するため報道機関や関係機関との連携を図りながら情報を提供する。
- ・市民が生涯学習活動に円滑に取り組むことができるよう、講師情報の提供や生涯学習相談に対応するとともに、市民が日頃の学習成果を発表できる場や生かすことができる機会を提供する。また、市民の生活課題の解決を目指した活動に取り組む市民グループについて、必要に応じて共催や後援の支援を行う。
- ・自主的学習活動や地域づくり活動を促進するため、関係機関との連携を図るとともに、PTAや青少年ボランティア等の社会教育関係団体等への支援を行う。

(2) 社会教育事業の充実

- ・山形市市民意識調査結果や山形県及び山形市の推進施策等を考慮したうえ、「個人の要望」と「社会の要請」のバランスのとれた学習機会とテーマを設定し、公民館、社会教育青少年課及び関係機関が連携しながら、市内全域を対象に事業を展開する。
- ・公民館の管轄区域を対象に、地域の連帯を高める「ふれあい交流」事業、地域の課題などを踏まえ公民館と地域とが連携して行う「地域と共に考えるまちづくり」事業を展開する。
- ・公民館施設を広く市民の利用に供するため、社会教育法の主旨に沿った運用のなかで民間企業等に対象を広げた使用許可基準緩和の実施や、少年・青年・家庭・親子向けの事業の内容及び開催日等を工夫することにより、公民館施設の利用拡大を図る。
- ・地域等の学校のニーズを把握し、連携協働した事業を実施する。実施にあたっては地域の人材を積極的に活用し、地域の教育力の向上を図る。
- ・地域と学校が連携・協働し、「地域とともにある学校づくり」に取り組むため、保護者や地域住民が学校運営に参画する「学校運営協議会」を設置するとともに、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えるため「地域学校協働活動」を一体的に推進する。
- ・文部科学省「地域と学校の連携・協働体制構築事業」により、放課後子ども教室推進事業を展開し、放課後や週末等に小学校の特別教室などを活用して子どもの安全安心な活動拠点を設けるとともに、子どもたちに学習や遊び、体験、交流の機会を提供し、健やかな成長を促す。
- ・社会教育事業実施にあたり、社会教育青少年課・公民館相互の連携・協力、事業の手法等についての職員の知識・技能の習得が重要であり、社会教育青少年課主催の研修内容の検討や、国・県等が主催する研修への積極的な参加により、職員研修の強化を図る。

1 公民館

市民の多様な学習ニーズに対応する魅力ある公民館事業を展開するために、公民館8館の運営管理、施設整備、設備の維持補修等を行っている。各公民館の概要は、次のとおり。

公民館名	所在地	完成年月	電話番号	敷地面積(m ²)	構造階層	令和3年度施設利用者数(人)
中央	七日町一丁目2-39	昭 62. 3	623-2150	(複合施設)	鉄筋4~8階の一部	19,784
東部	小白川町二丁目3-47	昭 55. 3	642-5181	(複合施設)	鉄筋3階	8,527
西部	籠田一丁目2-23	昭 58. 3	645-1223	2,245.14	鉄筋3階	18,743
南部	小荷駄町7-110	昭 57. 3	641-6701	(複合施設)	鉄筋4階	20,441
北部	宮町四丁目17-13	昭 51. 3	623-9073	1,983.43	鉄筋3階	18,839
江南	江南一丁目1-27	昭 60. 2	684-4428	2,791.59	鉄筋4階	27,524
霞城	城西町二丁目2-15	昭 61. 2	643-2687	12,000.00	鉄筋3階	16,986
元木	元木三丁目4-8	平 2. 3	631-6551	2,146.72	鉄筋3階	13,580
合 計						144,424

(1) 令和3年度 公民館事業の実施状況

社会の変化に応じた社会全体の学習ニーズに対応するために、全市を対象とした「社会的要請学習」と、公民館が立地する地域との日常的な関わりを重視した「地域づくり学習」を展開した。

① 社会的要請学習事業

学習テーマ	担当公民館	事業数 (事業)	実施事業に係る講座数 (講座)	参加者数 (人)
ICT活用の推進	中央公民館	3	46	438
ライフデザインに関する学習支援	中央公民館 霞城公民館	4	4	60
環境・エネルギーに関する学習支援	東部公民館 西部公民館	4	4	47
健康づくりに関する学習支援	南部公民館 元木公民館	5	5	113
防災・防犯に関する学習支援	北部公民館 江南公民館	5	5	69
若者支援事業	社会教育青少年課 全公民館	1	6	64
子ども支援事業	社会教育青少年課 全公民館	11	25	599
合 計		33	95	1,390

② 地域づくり学習

事業区分		事業数 (事業)	実施事業に係る講座数 (講座)	参加者数 (人)
地域住民相互のふれあい交流の促進		100	210	4,413
内訳	子育て支援事業	7	10	164
	子ども育成事業	22	45	884
	若者支援事業	7	8	85
	まるごとやまがた	20	31	538
	その他の事業	44	116	2,742
地域と共に考えるまちづくり		12	122	2,214
中央公民館ホール事業		4	6	1,133
合 計		116	338	7,760

③ 対象別の事業実施状況

区 分	地域づくり学習						社会的要請の高い 課題に対応する 社会教育事業			合 計		
	主 催 事 業			共 催 事 業			事業数 (事業)	講座数 (回)	参加者数 (人)	事業数 (事業)	講座数 (回)	参加者数 (人)
	事業数 (事業)	講座数 (回)	参加者数 (人)	事業数 (事業)	講座数 (回)	参加者数 (人)						
少 年	14	35	535	2	3	200	8	22	585	24	60	1,320
青 年	7	8	85	0	0	0	1	6	64	8	14	149
成 人	36	48	687	9	18	563	17	37	483	62	103	1,733
高 齢 者	5	40	408	11	129	2,100	1	24	204	17	193	2,172
親 子	10	12	180	3	5	133	6	6	54	19	23	367
そ の 他	12	30	1,462	7	10	1,407	0	0	0	19	40	2,869
合 計	84	173	3,357	32	165	4,403	33	95	1,390	149	433	9,150

2 社会教育青少年課の事業

(1) 令和4年 山形市二十歳の祝賀式

本市の二十歳になる青年の大人としての自覚を改めて促し、また、市全体で自ら成長しようとする青年を祝い励ますために山形市二十歳の祝賀式を実施した。式典の企画運営にあつては、新たに二十歳を迎えられた方々による「二十歳の祝賀式実行委員会」を組織し、当事者の意思を式典に反映した。

例年成人の日の前日に実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大の状況により、令和4年4月30日(土)に延期し、中学校区をおおむね南北に分け、午前午後の2部制で開催した。

また、参加者を登録制とし、事前に感染対策等についての通知やワクチン2回未接種者へのPCR検査キットの送付等を行った。

開催日 令和4年4月30日(土) 午前の部：11時～11時30分 午後の部：14時～14時30分

開催場所 山形国際交流プラザ 山形ビッグウイング

該当者数 2,505名

参加者数 1,650名

参加率 65.9%

※換気・手指消毒・体温測定・入替時の消毒作業、距離を取った席の配置等、感染防止対策を徹底し実施。

(2) 放課後子ども教室推進事業

「新・放課後子ども総合プラン」に基づき、放課後や土曜日に小学校の余裕教室などを活用し、子どもの安全・安心な活動場所を提供するとともに、学習活動や集団での遊びのほか、価値ある体験活動や豊かな関わり合いを通じて、子どもの自主性を培い社会性を育むことを目的に、平成19年度からモデル校として第一小学校と東小学校、平成20年度から大曾根小学校で放課後子ども教室を実施している。

令和3年度は新たな取り組みとして、全市小学生を対象とした「土曜体験版」放課後子ども教室を開催し、学習や遊び、様々な体験活動を中央公民館で実施した。

実施小学校名	開催曜日	登録児童数(人)	開催日数(日)	延べ参加者数(人)
大曾根小学校	月～木	25	133	2,139
【土曜体験版】 中央公民館	土曜日・冬季休業中の月曜日	21	4	69
合 計		46	137	2,208

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校との協議により、第一小学校及び東小学校では令和3年度の開催を見送った。

(3) 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）と地域学校協働活動の一体的推進

地域と学校が一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」づくりを進めるために、市内小中学校に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールを導入する。

・令和2年度

小学校2校及び中学校1校、合計3校（平成30年度より研究委嘱）に学校運営協議会を設置した。

・令和3年度

小学校25校及び中学校7校、合計32校に学校運営協議会を設置した。

・令和4年度

小学校9校及び中学校7校、合計16校に学校運営協議会を設置し、全小中学校がコミュニティ・スクール導入予定。

※令和3年度より、学校運営協議会を設置した学校に、学校と地域の連絡調整を担う地域学校協働活動推進員を配置（令和3年度は18人委嘱）。コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進する。

青 少 年（社会教育青少年課）

1 青少年健全育成

(1) 青少年問題協議会

青少年問題の協議機関として、昭和34年設置。青少年の指導・育成・保護及び矯正に関する施策についての調査審議、関係行政機関相互の連絡調整を行い、市長及び市区域内の関係行政機関に対して意見を述べる市の附属機関。

委員 27人

(2) 青少年育成推進員

地域における青少年の健全育成運動を組織的、継続的に実践するため、各地区1～2名計60人を教育委員会が委嘱する。

(3) 山形市青少年育成市民会議

青少年問題のもつ重要性に鑑み、広く市民の総意を結集し、次代を担う青少年の健全育成活動を行うために、趣旨に賛同する青少年育成団体、個人会員等で組織し、会費及び市補助金で運営されている。昭和48年結成。

個人会費 年間一口1,000円 団体会費 年間一口2,000円 賛助会費 年間一口5,000円

(4) 地区青少年健全育成連絡協議会等の活動奨励

地区内の青少年関係機関、団体及び有志者で組織する青少年健全育成連絡協議会等に対し、活動奨励金を交付し、地域ぐるみによる青少年健全育成活動を促進する。

34地区 1地区 65,000円

(5) 青少年健全育成講演会

これからの社会を担う青少年の健全育成を推進するため、広く青少年に関わる人々に青少年問題への関心・理解・連携強化・意識高揚を図るために開催する。「子ども・若者育成支援強調月間」にあわせて開催している。

(6) 青少年育成団体への支援

青少年の健全育成を目指して自主的活動を行う青少年育成団体等を支援する。（9団体）

(7) 「やまがたの青少年」の発行

青少年施策の総合的な推進を図るための資料として、青少年施策と関係施策をまとめた冊子「やまがたの青少年」を発行するとともに、本市の公式ホームページに公開する。

(8) 「大人が変われば子どもも変わる」・「いじめ・非行をなくそう」県民運動への取り組み

関係団体等とともに、この運動を推進する。

(9) 子ども・若者育成支援機関等との連携・協力

ニート、ひきこもりなどの困難を抱える子ども・若者を支援するために県で設置した「若者相談支援拠点」（山形市内3カ所）と連携・協力しながら啓発に努める。

(10) 青少年を取り巻く環境の浄化

関係行政機関及び地域団体等と連携しながら次の施策を展開し、青少年にとって有害な環境の浄化に努める。

① 青少年に有害な違法簡易広告物の監視

② 青少年に有害な図書・情報紙（フリーペーパー）・DVD・大人のおもちゃなどの区分陳列及びそれらの自動販売機を設置させない運動の促進



(11) 青少年のインターネット利用環境の整備

保護者に対し、携帯電話等の適切な利用、「フィルタリング」の必要性についての啓発・普及促進
※フィルタリング…有害サイトへのアクセスを防ぐサービス

(12) 子どもの安全・安心対策事業

「子どもたちをより多くの目で見守ります」を基本理念として、教育委員会が策定した「子どもの安全・安心対策の基本方針」に基づき、子どもの登下校時の安全・安心の確保を引き続き推進していく。

- ① 子どもの安全・安心対策を組織的に推進
 - ・教育委員会各課で構成する「子ども安全対策会議」のもと、他の部署と連携して推進
- ② 子どもたちの安全・安心を地域で見守る体制の充実
 - ・「子ども見守り隊」「子ども110番」の啓発・支援
- ③ 緊急情報の迅速な送信
 - ・「子ども安全情報配信システム」による不審者情報等の配信 令和3年11月からはLINEによる配信も開始
- ④ 危険が潜みやすい場所の改善
 - ・公園等の植栽やトイレの適正な維持管理を、学校や地域からの情報に基づき、関係部署に依頼する等により改善に努める

2 青少年指導センター

- (1) 所在地 山形市旅籠町二丁目3番25号（社会教育青少年課内）
- (2) 職員 所長1（兼務） 副所長1（兼務） 職員3（兼務） 会計年度任用職員（専門指導員）2
- (3) 運営協議会委員 17人
- (4) 指導委員 887人（令和4年6月1日現在）
- (5) 設置経過並びに活動

戦後の少年非行数の推移は、昭和26年が第一のピーク、昭和39年が第二のピーク、昭和58年が第三のピーク、平成10年が第四のピークといわれており、青少年指導センターは第二のピークに対処するため設置された経緯がある。

青少年指導センターでは、指導委員による繁華街等の街頭指導活動を、平日毎日、午前（10時から12時）、午後（14時30分から16時30分）、夕刻（16時から18時）、夜間（18時から20時）の4つの時間帯のうち、2つの時間帯に実施している。

また、大型店舗の郊外進出により、市中心部からも青少年が流入しており、平成23年度からは通常の街頭指導のなかに嶋地区や吉原地区を組み入れて実施している。令和3年10月からは青色防犯パトロール車を導入し、広範囲での見守り、声かけを行っている。

学校の長期休業期間、年末年始期間等については、学校教職員を中心とした街頭指導を行い、併せて、各地域における街頭指導を促進している。地区のお祭りや花火大会等でも同様に、各地域における街頭指導を促進し、ぐ犯・不良行為少年の早期発見・早期指導を効果的に行っている。

少年相談については毎週月曜日から金曜日の午後1時から5時（祝日は除く）に実施している。電話及び電子メールによる相談を中心に、面談相談も行い、少年非行の防止と健全育成活動を展開している。また、相談員の研修を実施し、資質の向上を図っている。

(6) 街頭指導状況（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

① 実施日数及び従事指導委員月別人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延べ日数	39	40	39	43	56	35	38	35	33	24	20	55	457
月別人数	105	150	114	235	354	89	104	99	108	58	40	345	1,801

② 街頭で注意・声かけた青少年の月別人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
声かけ人数	875	1,520	1,664	1,180	860	1,266	1,619	1,307	805	654	3,060	2,269	17,079
注意・指導人数	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	4

③ 街頭で注意・声かけた青少年の学職別人数

学職	未就学児	小学生	中学生	高校生	その他の学生	有職少年	無職少年	計
声かけ人数	152	6,569	2,915	6,826	547	59	11	17,079
注意・指導人数	0	0	2	0	2	0	0	4

(7) 少年相談状況

① 期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日

② 相談員 8人(令和3年度)

③ 総件数

相談内容	電話受付件数	メール受付件数	面談受付件数	計
学 校 生 活	2	20	0	22
進 路	0	1	0	1
部 活	1	0	0	1
不 登 校	1	0	1	2
交 友 関 係	1	2	0	3
異 性 関 係	1	0	0	1
性 に 関 する こと	2	0	0	2
い じ め	1	2	0	3
家 庭 内 暴 力	0	0	0	0
虐 待	0	0	0	0
引 き こ も り	0	0	0	0
携 帯 電 話	1	0	0	1
家 庭 の こと	2	2	1	5
身 体 の こと	0	0	0	0
し つ け	0	0	0	0
そ の 他	4	2	0	6
計	16	29	2	47

少年自然の家

1 位 置

山形県東村山郡山辺町大字畑谷字板橋3725番地

2 環 境

村山平野を一望できる荒沼湖畔の高台に位置し、山形市の中心部から西へ約18kmのところにある。

当地域は、県政100年を記念して造成された「県民の森」の中に含まれている。地理的には、大沼、荒沼など大小13の湖沼が点在する丘陵状の地形及び白鷹山や東黒森山を中心とする山岳地帯からなり、標高450mから994mの間にあり起伏に富んでいる。

近くには、「東黒森山」のアカマツ自然群落、「びわ沼」の高層湿原植物、「曲沼」の水生植物等の貴重な群落がある。さらに、野鳥、昆虫類、両生類等の動物相も多く、自然学習に恵まれた環境にある。

3 教 育 目 標

山形市少年自然の家は、「山形市教育大綱」及び「山形市教育振興基本計画」に基づき、豊かな自然の中での集団宿泊生活や野外活動を通し、児童生徒及び幼児の心身ともに健全で豊かな人間性の育成を目指します。

また、広く市民を対象に「自然と人間の共生」をテーマとし、生涯学習の場として、市民が利用しやすい施設運営を行います。

- (1) 価値ある豊かな体験活動の充実
- (2) 市内小中学生を対象とした自然体験活動を通して生きる力を育む自主事業の実施
- (3) 広く市民が「自然と人間の共生」について学ぶ環境整備の推進

4 事 業

- (1) 動植物、地質、天体等の自然観察、自然愛護その他自然に親しむ事業
- (2) 登山、キャンプ、ハイキング、オリエンテーリング、フィールドアスレチック、プロジェクトアドベンチャー、ラングラーウフスキー、その他野外活動事業
- (3) 自然の中での集団宿泊生活と創造的文化活動の事業
- (4) 少年団体指導者の研修事業
- (5) その他少年の健全育成に関する事業
- (6) 老朽化した施設・設備の計画的改修事業

5 使用の方法

(1) 使用 者

- ① 義務教育諸学校の児童生徒及び幼児並びにその指導者及び保護者
 - ② 教育委員会が適当と認める者
- 野外活動センターについては、①②に掲げる者以外のものであっても使用することができる。

(2) 休 業 日

- ① 祝日及び年末年始、月曜日（第三日曜日の翌日を除く）、第三日曜日とその前日
- ② その他教育委員会が認めるとき

(3) 使用 経 費

- ① 食費 朝食460円、昼食500円、夕食640円
- ② シーツ等クリーニング料 130円（本館及びキャンプ場宿泊それぞれ）
- ③ その他雑費 実費

6 施設概要

(1) 本 館

- | | | | |
|--------|--------------|-------|---------|
| ① 敷地面積 | 78,516.15㎡ | | |
| ② 建築面積 | 延べ 3,822.05㎡ | | |
| 管理研修棟 | 1,959.55㎡ | 宿 泊 棟 | 988.08㎡ |
| 体育室棟 | 587㎡ | そ の 他 | 287.42㎡ |
- ③ 主な施設
- | | |
|-------|---|
| 管 理 棟 | 天体観測室（20cm・屈折赤道儀天体望遠鏡）、プラネタリウム室、視聴覚室、学習室、資料展示室、研修室、会議室、保健室、事務室、応接室、浴室、食堂等 |
| 宿 泊 棟 | 洋式二段ベッド（収容能力 216名）、和室(2)、指導員室(2)、談話室(2) |
| 体 育 棟 | 体育室（500㎡）、体育用具室、スキー乾燥室、放送室、工作室 |
| そ の 他 | 野外炊飯場、営火場 |
- ④ 開所年月日 昭和54年7月20日

(2) 生活体験の家

- ① 建築面積 延べ335.85㎡
- ② 主な部屋 上段の間8畳、二の間6畳、中の間8畳、納戸10畳、茶の間18畳、土間、道具置場、水飲み場、便所、物置

(3) キャンプ場（荒沼）

- ① 敷地面積 21,948.62㎡
- ② 建築面積 延べ 243.49㎡
バンガロー 5棟 延べ 94.86㎡
常設テント 40張 延べ148.63㎡（収容能力 160名）
- ③ 主な施設 イベントテント、炊事場、営火場、管理棟、バイオマストイレ

(4) 総事業費（本館工事分） 882,097千円

財源内訳

- ① 国庫補助金 130,000千円
- ② 起債（年金積立還元融資） 298,000千円
- ③ 一般財源 454,097千円

(5) 生活体験の家建設事業費 30,855千円

(6) 厨房食堂増築事業費（建築面積198.55㎡） 58,348千円

(7) 椿山 22,782.98㎡

7 野外活動センターの概要

豊かな自然環境の中での体験活動を通し、心身ともに健全な少年を育むとともに、市民へ生涯学習の場と機会を提供する場として、平成8年4月20日にオープンした。

施設名	規模	機能等（施設の概要）
大駐車場	2,810㎡	第1駐車場 普通車 53台 第2駐車場 大型バス 10台
野外ステージ	延床面積 410.67㎡	音楽・演劇等の練習・発表・創作活動 75人編成ブラスバンド演奏可 （ステージ面積185.95㎡）
見晴らし台		山形市街地、蔵王連峰の展望・休憩
虫の広場	900㎡	昆虫観察
眺望の岩	高さ 12.7m	樹冠からの展望
サービスセンター	延床面積 1,035.13㎡	野外活動センターの核となる施設
・ロビー		植物、昆虫標本、水中生物の展示
・インストラクタールーム		受付、情報提供、援助、指導、案内
・ふれあい工房	150㎡	クラフト、活動プログラム計画、学習、休憩
・ホール（2階）	409.7㎡	集団活動、クラフト、学習、ゲーム、休憩
風の洞窟	20m	化石のトンネル
あずまや	60.75㎡	
運動広場	10,800㎡	スポーツ・ゲーム等、集団での各種活動 直径約100m、芝生張、サッカーゴール1組
板橋沼キャンプ場	67,000㎡	テントサイト86床250人収容、炊飯棟5棟50釜、営火場 （備品としてドーム型テント55張、設営・撤収は利用者）
・屋根付広場	199.5㎡	雨天時の避難、休憩、活動、遊び
・キャンプ場管理棟	216.50㎡	シャワー、キャンプ用品貸出と収受、キャンプ生活の援助指導
いかだハーバー		荒沼湖面での、いかだアドベンチャーの発着場
スーパースライダー	100m	フィールドアスレチックの一施設
ゲレンデ	16,000㎡	アルペンスキー、そり滑り、チューブ滑り、ラングラウフスキー
・Tバーリフト		スキー用リフト（無料）



事業費 1,770,349千円

① 事業用地 219,506千円

213,349.76㎡（内借地 66,905㎡）

② 施設設備

ア 土木関係 575,464千円

野の花の丘、風の詩の丘、花の谷、運動広場、キャンプ場（板橋沼）、自然観察林、自然観察路他

イ 建築関係 888,514千円

サービスセンター、野外ステージ、屋根付広場、キャンプ場管理棟、トイレ棟、炊飯棟、浄化槽他

ウ 基本設計、備品等 86,865千円

8 令和3年度山形市少年自然の家月別利用状況

(1) 開所日数 286日（本館） 103日（キャンプ場）

(2) 月別利用者延べ人数

月	団体	小学校	中学校	子供会	主催事業	その他	合計
4		0	0	0	0	452	452
5		180	370	0	23	565	1,139
6		2,694	0	27	113	808	3,642
7		2,439	0	34	142	996	3,611
8		0	0	32	59	696	787
9		778	0	0	0	536	1,314
10		2,038	134	0	608	538	3,318
11		0	0	0	104	326	430
12		0	0	0	42	257	299
1		2,784	0	0	188	3,711	6,683
2		395	0	0	0	2,941	3,336
3		0	0	0	0	287	823
合 計		11,845	504	93	1,279	12,113	25,834

図 書 館

- 1 開館年月日 昭和54年7月1日
- 2 所在地 山形市小荷駄町7番12号

3 施設の概要

- 敷地面積 4,100㎡ (1,240.0坪)
- 構造 鉄筋コンクリート造 地上2階 地下1階
- 建物面積 延べ3,150.08㎡ (952.8坪)
- 地階 773.09㎡ (233.8坪)
閉架書庫、BM書庫、BM作業室、機械室、電気室 他
- 1階 1,520.66㎡ (459.9坪)
一般開架室、児童開架室、郷土閉架室、参考資料室
印刷室、事務室、男女更衣室 他
- 2階 815.38㎡ (246.8坪)
学習室、集会室、講座室2、映写室、軽読書コーナー、展示ホール、倉庫 他
- E V塔 40.95㎡ (12.3坪)
- 建設費 564,450千円
- 蔵書能力 20万冊 (本館)
一般開架室、児童開架室、参考資料室、郷土閉架室 10万冊
地階閉架書庫、BM書庫 10万冊

4 蔵書計画

山形市立図書館資料収集方針に基づき、市民のニーズや社会情勢に即した年間1万5千冊程度の図書を購入する。

5 図書館サービス網

- 本館 分館(4)
- 昭54 開館 昭55(2) 開館(中央、東部)
昭56(1) 開館(北部)
昭61(1) 開館(霞城)

6 図書館資料

(1) 資料受入

年度	図 書			雑 誌	紙芝居	郷土資料	その他	受入総数
	一 般 書	児 童 書	計					
令和3年度	7,862	2,516	10,378	2,999	67	1,241	1,304	15,989

(2) 蔵書冊数

(令和4年4月1日現在)

一 般 書	児 童 書	雑誌・紙芝居等	計
217,492	91,613	94,260	403,365



7 図書館利用状況

(1) 登録者数 (単位：人)

令和3年度登録者数	1,785
登録者数合計	36,463

(2) 各館別の利用 (貸出者数、貸出冊数) (令和3年4月～令和4年3月)

館名	貸出者数	貸出冊数	一日平均	
			貸出者数	貸出冊数
本館	117,843	612,480	409.2	2,126.7
分館(4カ所)	49,971	197,290	—	—
合計	167,814	809,770	—	—

(3) 指標 (令和4年4月1日現在)

① 人口1人当たり貸出冊数	$\frac{809,770冊}{244,584人} = 3.3冊$
② 登録率	$\frac{36,463人}{244,584人} = 14.9\%$
③ 登録者1人当たり貸出冊数	$\frac{809,770冊}{36,463人} = 22.2冊$
④ 蔵書回転率	$\frac{809,770冊}{403,365冊} = 2.0回$
⑤ 人口1人当たり蔵書冊数	$\frac{403,365冊}{244,584人} = 1.6冊$
⑥ 人口1人当たり図書費	$\frac{19,999,958円}{244,584人} = 82円$

(4) レファレンス (調査相談) (令和3年4月～令和4年3月)

一般	児童	計(件数)
41	1	42

(5) コピーサービス (令和3年4月～令和4年3月)

件数	枚数	1日平均	
		件数	枚数
476	2,791	1.7	9.7

(6) 国立国会図書館図書館向けデジタル化資料送信サービス (令和3年4月～令和4年3月)

区分	件数	複写枚数
閲覧	10	—
うち複写	8	62

学校給食センター

学校給食は、心身の成長期にある児童・生徒にとって、健康の増進と体位の向上に資するものであり、豊かな人間性の形成にも重要な役割を担っている。

学校給食センターでは、山形市教育大綱及び山形市教育振興基本計画に掲げる基本理念及び基本方針に基づき、調理業務等については、受託会社である株式会社山形学校給食サービスと連携し、徹底した衛生管理のもと、「安全でおいしく栄養バランスのとれた楽しい給食」の提供に努め、学校給食用米飯提供については、山形連携中枢都市圏の8市町による連携事業として建設した山形広域炊飯施設において、全自動炊飯システムの導入による安全・安心かつ安定的な米飯の提供に務めている。

また、地場産農産物の積極的な使用や郷土料理の導入を促進しながら、学校給食を「生きた教材」として食育等に活用し、栄養指導や試食会等をとおして、食の重要性についての理解を促すことにも力を入れている。さらに、食物アレルギー対応食の実施や、廃棄物のリサイクルについても取り組んでいる。

さらに、学校給食費未納対策について、学校と連携し取り組んでいる。

- 1 所在地 山形市大字沼木字下河原1139番地19
- 2 敷地 34,160.08㎡
- 3 建物 9,155.59㎡ (学校給食センター)
1,218.05㎡ (山形広域炊飯施設)

4 学校数及び給食数（センター対象校） (令和4年5月1日現在)

区分	学校数	学級数	児童生徒数	職員数	計
小学校	36	533	11,494	897	12,391
中学校	15	239	5,933	492	6,425
学校給食センター	—	—	—	187	187
計	51	772	17,427	1,576	19,003

5 給食費の推移（1食当たり） (単位：円)

年度	昭50	昭51	昭52	昭53 ～昭54	昭55	昭56	昭57 ～平1	平2 ～平3	平4 ～平8	平9 ～平10	平11 ～平26	平27 ～
小学校	135	150	160	170	194	200	203	210	240	245	255	265
中学校	165	180	194	207	236	240	245	250	280	285	295	305

※平成27年度より、一般会計に計上

6 運営費

区分	年度	平29	平30	令元	令2	令3	令和3年度 1食当たり 運営費
食数		3,515,724食	3,486,940食	3,266,531食	3,297,111食	3,414,510食	
総経費		1,089,516千円	1,094,143千円	1,102,241千円	1,112,209千円	1,104,612千円	324円
内訳	人件費	80,826千円	79,107千円	76,033千円	89,055千円	95,032千円	
	委託料	714,524千円	713,297千円	716,914千円	731,566千円	727,490千円	
	公有財産購入	284,731千円	279,806千円	274,943千円	269,958千円	265,033千円	
	その他の経費	9,435千円	21,933千円	34,351千円	21,630千円	17,057千円	

7 具体的な施策

(1) 徹底した衛生管理のもと、適切な栄養が摂取できる給食の提供

衛生管理及び食品安全確認を万全なものとし、バランスの取れた適切な栄養が摂取できる給食を提供する。

- ① 施設・設備の衛生管理の徹底…HACCPの概念を基本とし、施設・設備の衛生管理に万全を期する。また、調理機器や使用食材の細菌検査を定期的に行っている。
- ② 職員の健康・衛生管理体制の強化…学校給食業務に従事する職員の健康や衛生状況について、日常のチェックを励行するとともに、冬季にはノロウイルスも含めた検査を実施する。
- ③ 安全かつ良質な食品の確保…食品について、産地や原料配合等の情報収集を積極的に行う。物資納入時の検収体制を強化し、安全で良質な食材の使用を図っている。
- ④ 適切な栄養摂取ができる献立の作成…メニューの多様化に努め、「学校給食摂取基準」に則した献立を作成する。

(2) バイキング給食・年中行事食などを取り入れた、楽しい給食の実施

バイキング給食、年中行事食、リクエストメニューなどを取り入れ、学校給食の充実を図っている。



- ① バイキング給食の充実…食生活の自己管理能力を培うことを目的に高学年を対象としたバイキング給食の充実を図っている。(令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のため「思い出給食」として、6年生を対象に実施)
令和3年度 36校 2,622人
- ② 行事食等の提供…「ひなまつり献立」、「子どもの日献立」、「七夕献立」などの行事食を提供し、昔から伝わる四季の行事食に触れ、楽しい給食の実施に努めている。
- ③ リクエストメニューの実施…「リクエストメニュー」を実施し、給食に児童・生徒の希望を取り入れている。
令和3年度 小学校10回・中学校5回実施した。

(3) 栄養指導等とおした食育の充実

学校給食法の趣旨を踏まえた栄養指導等を実施し、食育の充実を図る。

- ① 栄養指導の充実…学校給食を食育の推進に資する生きた教材ととらえ、各学校で実施する栄養指導とおして、正しい食事のあり方や、望ましい食習慣の形成について理解を促している。
- ② 試食会による食育活動…保護者を対象とする試食会や、センターにおける試食会を活用して、学校給食の意義や食の大切さを伝えている。(令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のため実施なし)
- ③ 情報提供の充実…学校給食だより等を活用し、食に関する情報提供の充実を図る。
- ④ 施設見学や試食希望者を積極的に受け入れ、市民に学校給食の役割や意義についての理解を促している。
(令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため実施なし)
- ⑤ 市産野菜生産農家取材した動画を学校へオンデマンド配信し、児童生徒が給食時間に視聴する「食育交流給食」を実施し、農業や食文化への理解を深めるよう努めた。

(4) 伝統的な食文化である郷土料理の導入促進

食育を充実させるための一環として、郷土料理の導入促進に努めている。

- ① 令和3年度 小学校36回・中学校31回実施した。
- ② 情報提供の充実…学校給食だより等を活用して、郷土料理に対する情報の提供に努める。

(5) アレルギー対応食の実施とアレルギーに関する情報提供の充実

令和3年度アレルギー対応食の提供状況

- ① アレルギー対応食の提供…卵、乳、乳製品を除去したアレルギー対応食を提供している。
(令和4年3月現在)

	卵	乳	卵・乳	計
小学校	34人	14人	10人	58人
中学校	11人	1人	4人	16人
計	45人	15人	14人	74人

- ② アレルギーに関する情報提供の充実…学校と連絡調整を図りながら、アレルギーに関する情報提供の充実を図っている。
- ③ 食物アレルギー等に関する研修…小児科医による研修会を学校教職員対象に実施している。(令和3年度は書面開催)

(6) 地場産農産物の積極的な活用

市内産農産物の使用を拡大し、地産地消の推進を図っている。

令和3年度 市内産 野菜26.0% 果物22.2%

- ① 地場産農産物に関する情報の収集…農政担当課や食材納入業者等から、地場産農産物に関する情報の収集に努めている。
- ② 食材の委託栽培継続実施…協定の締結を行った「キャベツ」「じゃがいも」「にんじん」「だいこん」の委託栽培の継続実施を図っている。
- ③ 市産米粉パンの導入…令和3年度市産米粉パンを小中学校にそれぞれ6回ずつ実施した。
- ④ 市産小麦パンの導入…令和3年度市産小麦パンを小中学校にそれぞれ6回ずつ実施した。

(7) 学校から出る廃棄物のリサイクル促進

学校給食から排出されるごみは、可能な限りリサイクルに努めている。

令和3年度 290t リサイクル率97.8%

- ① 生ごみ等のリサイクル…生ごみ等については、肥料としてリサイクルしている。
- ② 牛乳パックのリサイクル…牛乳パックについては、児童・生徒の協力のもと紙資源としてリサイクルしているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。

(8) 学校給食費未納対策の推進

学校給食費未納問題について、学校と連携し取り組む。

令和3年度 納付率98.94%

- ① 学校給食費未納対策マニュアルの活用…学校給食費未納対策マニュアルを活用し、学校と連携し、学校給食費未納問題に取り組んでいる。
- ② 学校給食費についての事務部会の開催…学校関係者と検討会を開催し、学校給食費の課題等についての検討を行っている。

(9) 学校給食放射性物質検査の実施

学校給食に含まれる放射性物質の検査を実施して、給食の安全性の確認を行っている。

・小、中学校の給食それぞれ1食分(提供食)を、毎日ミキサーにかけ冷凍保存し、定期的にもるごと検査を行っている。

(10) 山形広域炊飯施設の共同運営

米の消費拡大、地産地消、地場産業の育成・持続及び学校給食への安全・安心かつ安定的な米飯提供、少子化の影響による食数減への対応などの課題解決を図るため、同じ課題を抱える山形連携中枢都市圏の8市町による連携事業として建設した山形広域炊飯施設の運営を行い、8市町の学校給食等へ米飯を提供している。

① 連携市町 山形市・寒河江市・上市市・村山市・山辺町・中山町・河北町・大石田町

② 提供開始 令和4年4月8日

③ 施設の概要

- 【施設名称】 山形広域炊飯施設
- 【所 在】 山形市大字沼木字下河原1139番地19
- 【構 造】 鉄骨造 平屋建て(延床面積:1,218.05㎡)
- 【建 設 費】 1,034,891千円
- 【工 期】 令和3年5月7日～令和4年3月1日
- 【炊飯設備】 全自動炊飯システム(洗米→炊飯→盛付→釜洗浄)
地産地消を推進するため、各市町の地元産米を炊き分けて提供
- 【炊飯能力】 3,500食/時間×2ライン
- 【調理場方式】 ドライシステム方式